



第 68 回横須賀市中学校総合体育大会始まる

4月20日(土)に第68回横須賀市中学校総合体育大会(中総合)の総合開会式が横須賀アリーナで行われました。毎年、中総合の開会式には横須賀市24校の代表選手が選手入場の際、行進を行います。本校もこの行進に向け、朝練習を積み重ねてきました。行進はただ音楽に合わせて歩けばいいのではなく、腕の振り方、足の挙げ方、仲間との同調性など、普通に歩くのとは別ものです。一つの競技とも言えるもので、生徒は汗だくになって練習をしていました。その姿勢に頭が下がる思いです。

そして、前日の19日(金)には、全校生徒が集まり、中総合の壮行会を開きました。壮行会では、代表選手による行進入場の後、中総合に臨む部の部長が大会に向けての意気込みを語り、文化部部長からは生徒を代表してエールを送りました。運動部以外の生徒は“チーム常葉”の一員として仲間を応援し、その思いを受けて、それぞれの競技の中で日ごろの成果を思う存分発揮してくれると期待したところです。



開会式当日は天候にも恵まれ、多くの選手やPTA代表の方、教職員はじめ多くの関係者が一堂に会する中、総合開会式が始まりました。その中で常葉中の代表選手は堂々と行進を行い、代表としての役割をしっかりと果たしてくれました。観覧席にいる仲間や会場には来られない仲間の思いやエールの気持ちをしっかりと持つての行進、その雄姿を見て本当に誇らしく思いました。

21日(日)から試合が始まっています。勝ち進んだ部、残念ながら敗退してしまった部と様々ですが、どちらにせよ、生徒はまた一つ貴重な経験をして成長していくのだと思います。できる限り試合会場に足を運び、生徒の頑張りにエールを送るとともに、その成長をしっかりと見ていきたいと思っています。

